

第5節 その他構内の立会調査

上豎小路共同下水管布設工事に伴う立会調査

調査地区 山口市上豎小路

調査期間 平成4年5月12日

調査方法 工事施工時における立会調査

調査面積 7 m²

調査結果 工事は経済学部職員宿舎、及び近隣の住宅などの生活雑廃水等の排出並びに給水のため、共同で公共下水道共用配水管、水道管、雨水排水溝及び汚水枳を設置するものである。工事面積は小規模であるが、本地区は大内氏館跡と同じ豎小路に面しており、大内氏関連町並遺跡の一部にかかる可能性があった。埋蔵文化財資料館は、既設職員宿舎から共用配水管までの山口大学所有地内における路線、幅約70cm、長さ10mについて立会調査を実施した。

その結果、現地地表下約60cmで礫混じりの黄灰色粘土の地山が検出された。遺構・遺物は全く検出されなかった。また、地山の上面には、8～10cmの灰色粘質土層をはさんで、厚さ約40cmの暗灰黄色粘質土層があり、灰色粘質土とともに宅地の整地土層と考えられる。よって、本地区は過去に遺構が存在したとしてもすでに消失している可能性が高い。

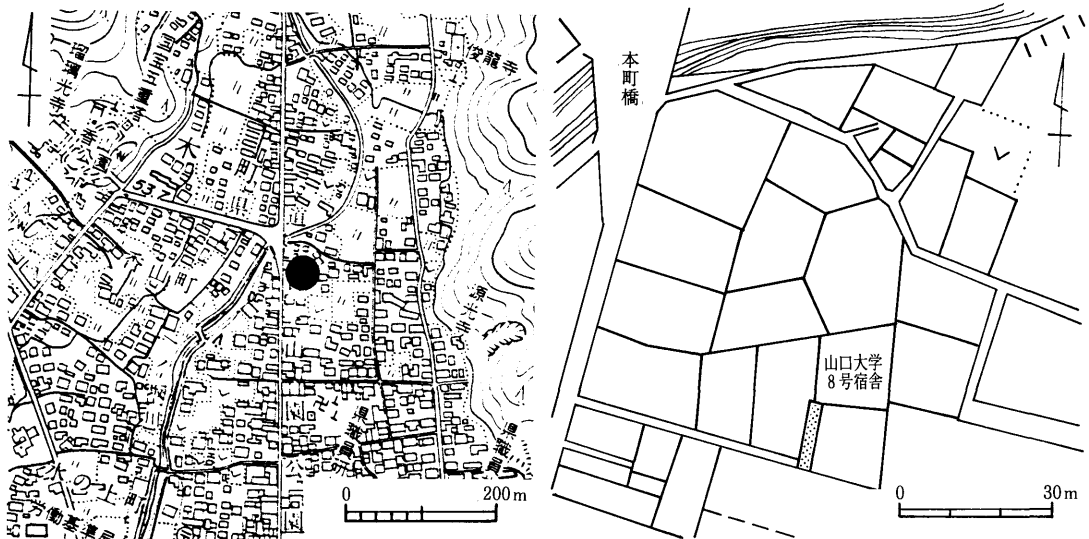


Fig. 66 調査区位置図